



大隈に就任し失職後長崎 佐賀新聞社

「佐賀新聞」は、慶応3(1867)年から明治維新激動期を1マに、当時の事件、人の動きを現代の新聞のスタイルで描いていきます。...

参考文献 相良隆弘、著「日本にドイツ医学を導入した佐賀の偉人 相良知安」...

相良初代学長を解任

第一大学区 医学 校

英国推進派から反感か

【明治6(1873)年、東京支取材選 佐賀藩出身の医学者、第一大学区医学部 初代学長を解任した相良知安氏が、...

ドイツ医学導入の功労者



長崎遊学時代の相良知安氏(相良隆弘さん提供)

さから・ちあん 天保7(1836)年、佐賀藩医相良柳庵の三男として佐賀市八戸に生まれる。...

「長崎—東京間」の電信架設完成 初代電信頭・石丸氏が尽力

【明治6(1873)年、日本では一番長い電信線が、...

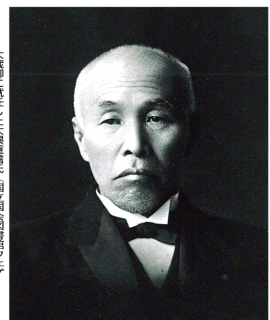


長崎遊学時代をいたる石丸世(石丸世と長崎 日本信託銀行提供)

大隈氏 大蔵卿に就任

近代資本主義国家目指す

【明治6(1873)年、東京支取材選 佐賀藩出身の政治家大隈重信が、...



大隈に就任し失職後長崎 佐賀新聞社

現し、政界への進出を進め、明治3年に官位最高位である参議に就任した。大隈氏は就任に当たり、...

「まずは旧藩時代の家業や藩政を整理して無用の支出を抑えたい」として、国家の歳入増進を期す。...

いしまる・やすよ 佐賀藩士・石丸六兵衛の四男として佐賀市に生まれる。...